

# 兵庫県における介護現場の生産性向上 の取組みと介護ロボット等の導入支援

兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課介護基盤整備班

# 第8期介護保険事業支援計画における 生産性向上の取組みの位置づけ

## 【基本目標】

- 医療、介護、予防、住まい、生活支援が地域単位で提供される仕組みの更なる深化・推進  
(2025・2040年を見据えたサービス基盤の整備)(システム)
- 高齢者の自己決定を尊重し、その持てる能力を發揮しながら生活を継続できる支援の実施(自立)
- 医療や介護サービス及び地域住民・自治会・NPO等が互いに連携しながら提供するサービス、ケアの充実・推進(連携)
- 高齢者をはじめとする地域住民が安心や生きがいをもって暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組の推進(安心)

## 【推進方策】

- (1) 地域包括ケアシステムの更なる深化・推進
- (2) 介護人材の確保及び資質の向上並びに介護現場の生産性の向上**
- (3) 介護保険制度運営の適正化
- (4) 高齢者が持てる力を發揮し生活を継続できる支援(災害・感染症対策の推進等)

**➡ 2040年に向けて生産年齢人口が減少する中で、人材確保・生産性の向上を推進**

# 介護人材確保・生産性向上の主な取組み

推進方策（２）「介護人材の確保及び資質の向上並びに介護現場の生産性の向上」に基づき、これまでの取組みに加えて、以下のような取組みを推進

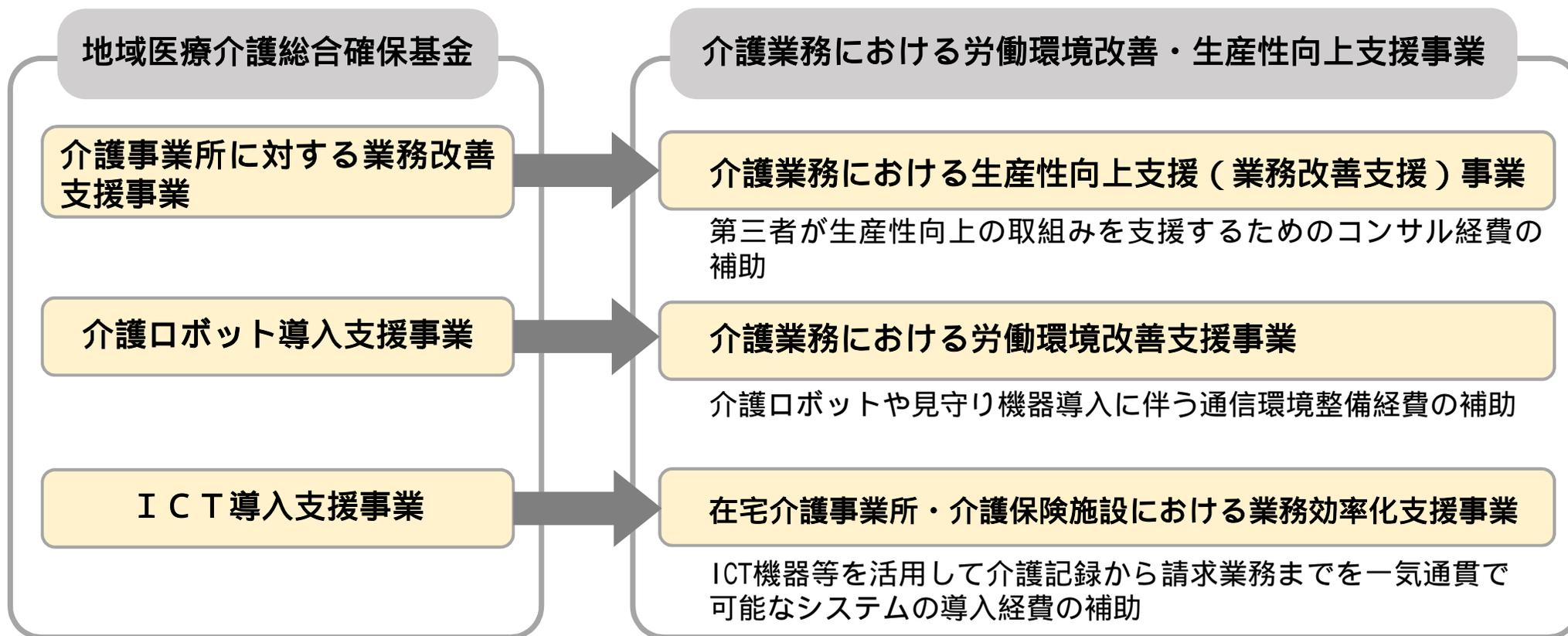
施策の方向	主な取組み
多様な人材の参入促進 ・外国人介護人材 ・中高年齢層 等 介護人材のキャリアアップ支援 ・意欲や能力に応じたキャリアパス 魅力ある職場づくり支援 ・入職者の定着促進 福祉・介護サービスの周知・理解 +	外国人介護人材の活躍、定着支援 高齢者等の地域住民が介護周辺業務に従事する「ひょうごケア・アシスタント推進事業」の推進 キャリアアップにつながる賃金体系等を要件とする「処遇改善加算」等の取得支援 サービス利用者等からのハラスメント対策等訪問サービスの人材確保支援 若手介護職員の中高生等への魅力発信、キッザニア甲子園による介護体験
介護現場の生産性の向上 （業務効率化とサービスの質の向上）	介護ロボット、ICT導入助成 介護ロボット等を活用する介護職員の育成支援

➡ 介護現場の生産性向上に向けた取組みとして、介護ロボット等の導入支援、機器を活用する介護職員の育成支援等を推進

# 介護ロボット等導入の推進に向けた具体的な取組み

本県では、地域医療介護総合確保基金を活用し、「介護業務における労働環境改善・生産性向上支援事業」を実施

令和3年度時点の内容



# 介護ロボットの導入に関する課題の分析

【設問】介護ロボットの導入や利用についてどのような課題・問題があるか(複数回答)

区分	施設系 (入所型)	施設系 (通所型)	訪問系	計
導入コストが高い	77.3	65.7	50.9	60.5
投資に見合うだけの効果がない	29.6	51.2	38.7	40.0
誤作動の不安がある	37.4	37.3	32.6	34.5
ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	24.1	29.4	23.2	25.1
技術的に使いこなせるか心配である	42.8	33.8	30.2	33.6
介護現場の実態に合う、現場の役に立つ介護ロボットがない	19.9	22.7	21.7	20.5
課題・問題は特にない	2.4	5.5	7.7	1.5

出典：令和2年度介護労働実態調査結果（公益財団法人介護労働安定センター）

## 課題

- ・高い導入コストに見合うだけの効果がない
- ・機器の使用法、現場に合った機器の選び方が分からない

➡ 介護ロボットの導入前後に、機器選定や活用法についてフォローが必要

# 介護ロボットの効果的な導入・活用に向けた支援

現場の課題を踏まえた上で、介護ロボットの導入促進を支援するため、令和4年度以降、以下の取組みを実施予定

## 導入前の支援

### 動画研修による適切な機器選定の支援

・機器の分野別解説等により、ニーズに合った機器選びを支援

## 導入後の支援

### 実技研修による適切な機器活用の支援（予定）

・実機による現場での活用を想定したフォローアップ

## 資金面の支援

### 補助事業による導入コストの低減

・一定の要件を満たす場合は補助率の引上げを実施(令和3年度～)



**介護ロボットやICT機器の導入・活用支援を通じて、  
介護現場の生産性向上に向けた取組みを引き続き推進**